

## ～はしがき～

本論文集はコミュニケーション論ゼミ生の今年度の成果集です。3部から構成されています。

コロナ感染拡大に伴い対面授業がかなわず、3学年ともに、新しい授業形態を余儀なくされました。チームコミュニケーションアプリ **Slack** とビデオ会議アプリ **Zoom** を利用し、遠隔での授業となりました。大学に来ることができないことをふまえて、授業内容を例年とは変えた部分もあります。特異な状況ではありましたが、それぞれが元気に1年間を乗り切れたことがなによりです。

第1部は、「コミュニケーション論演習」卒業生7名の卒業論文要旨と参考文献リストです。**Zoom**での会話をデータに利用した論文が2本あります。対面会話との違いが鮮明化し、これからも利用され続けるであろうビデオ会議システムでのやり取りの一端を解明できたことは意義深いです。すべての研究において、問題設定、先行研究、丁寧なデータ収集と考察まで首尾一貫した質の高い成果を残すことができました。ゼミ後、長い時間ゼミ室でおしゃべりをしていた皆さんにとって最終学年でその機会が奪われてしまったことは残念でしたね。いつの日か、ゆっくりと飲み会ができる日が来ることを楽しみにしています。それぞれの道でのご活躍を期待しています。

第2部は3年生の個人研究論文です。今年度は全員で学術論文をじっくり読むところから研究を開始しました。それぞれが興味のある論文を紹介することを通して、様々な研究テーマと研究手法があること、それが社会の中でいかに応用されているかに気が付くことができました。そのうえで、それぞれが明確なテーマ設定のもとでデータ収集と分析を行いました。対面活動には制約があったものの、興味深い結果を導くことができました。これで卒論を書く準備が整いました。まだまだ不自由な生活が続きますが、楽しんで卒業論文を作成しましょう。

第3部は、国際教養学部教養学系1期生である2年生のグループ研究論文です。初対面から**Zoom**でのスタートとなりました。秋頃には対面ゼミを行うことができ、対面会話の録音を実施できたことはラッキーでした。この会話分析を通じて、適切な問いを立て、データを収集し、分析する、さらに論文の形式に仕上げるプロセスを身につけることができましたでしょうか。この経験が3年生以降の研究に必ず生きてきます。さらにレベルアップした研究を目指しましょう。

2021年3月

佐藤響子

国際総合科学部国際教養学系社会関係論コース

国際教養学部教養学系

ksatoh@yokohama-cu.ac.jp

## ～目次～

### 第1部 卒業論文要旨・参考文献

1. 発話の重複が会話にもたらす影響：発話権と発話内容に注目して . . . . . 荒岡海斗 2
2. 日本人英語学習者の英語発話におけるフィラーが流暢さの評価に与える影響について . . . . . 江畑功樹 6
3. 方言に対する若者の意識と共通語化社会における方言使用の実態について . . . . . 太田優海 10
4. 『みんなのうた』(1961・2019)におけるジェンダー表現の変遷と日本の社会的背景 . . . . . 鬼島莉央 13
5. 対人関係維持・途絶の観点から見る不満表明 . . . . . 野口明日香 17
6. 談話内でのテキストの引用について：その使用実態に注目して . . . . . 羽太秀寿 20
7. 親しい友人・知り合いとの会話における自己開示が相手に与える印象：  
自己開示内容の深さに注目して . . . . . 前畑汐里 24

### 第2部 3年生個人研究

1. 対話におけるフィラー表現の現れと役割について . . . . . 伊藤直輝 30
2. 広報誌における適切な指示表現 . . . . . 石黒 葵 39
3. 英語から日本語への映画翻訳における、字幕と吹替の女ことば使用の比較 . . . . . 太田華代 55
4. 若者のLINEコミュニケーションにおける笑い表現の印象と使い分け . . . . . 太田万結 68
5. 日本人通訳者における『異人語』の使用 . . . . . 小澤京介 82
6. 会話において使用される言いさし表現「けど」の用法とその特徴について . . . . . 清水早耶 86
7. CMCにおける匿名性が攻撃的発言に与える影響 . . . . . 北條菜摘 91
8. 現代における日本人学生の「やさしい日本語」に対する意識：  
「やさしい日本語」に関する日本人の意識」と比較して . . . . . 吉池珠美 99
9. 『星の王子さま』の日本語翻訳における言語表現の差異 . . . . . 渡邊里菜 105

### 第3部 2年生グループ研究

1. オーバーラップ対処の傾向 . . . . . 木戸映穂・栗田花野・黒岩桃子・西中文恵 114
2. 会話において発生する司会的役割と話題の転換 . . . . . 塚本佑季奈・長濱美瑚・早川華音・増子大生 120
3. 発話冒頭に使用される「あ」「え」の役割と分類 . . . . . 杉山香奈・深谷壮央・湯地調 127